



～広報誌 『えがお』 の発刊にあたり～

日頃より、当法人へのご理解を賜り厚く御礼申し上げます。
地域の皆様が安心して通っていただける病院づくりを目指し、
このたちばな台において今年で 34 年目に入りました。長きにわたり
この地域で医療を続けてこれましたのも、皆様方の温かいご支援が
あつての事であり、この場をお借りしお礼申し上げます。

さて、皆様は当院の基本理念をご存じですか？当院の理念は
「患者さまのために・ご家族のために・そして地域のために
良質な医療を安全にまごころこめて提供します」としております。
その理念を大切にし、職員一同、患者さまを笑顔でお迎えし、また、
患者さまが笑顔で病院をあとにできるよう職員同士精進するために、この「えがお」という題にいたしました。今後は広報誌を通じて、皆さまへ様々な情報をご提供させていただくとともに、さらなる地域医療に貢献していく所存です。



院長 鈴木 信之

～広報誌 『えがお』 の発刊にあたり～

副院長 北村 直康

当院は、青葉区地域の皆さまの健康管理、また救急医療を担う中核病院です。入院ベッド数は 140 床と中規模ですが、24 時間の救急外来を設けており患者さまが安心・安全な医療を提供しています。標榜科は、内科・循環器内科・人工透析内科・消化器外科・整形外科を軸に我々医師をはじめ、職員一同日々頑張っております。

青葉区は高齢者の増加に伴い、多岐にわたり急性疾患、慢性疾患にかかわらず増加しています。そんな中、医師会・開業医の先生、消防隊の方々とも定期的に意見交換などの交流を通じて途切れのない診療を継続しています。重度の疾患に関しては、昭和大学藤が丘病院、聖マリアンナ医科大学病院とも連携しております。私はこのたちばな台病院に勤務し早 13 年が経過しました。多くの患者さまやそのご家族と接してきました。私自身患者さまやご家族から学ぶものが大変多くあり、医師として成長させていただいた、と実感しております。この度、広報誌「えがお」を発刊するにあたり、多くの方々にこの「えがお」を手にとっていただきたいと思っております。

やさしい医学講座

① **ピロリ菌は胃にすみつく細菌です。**正式名は『ヘリコバクター・ピロリ』、『胃に住みつくらせん型の細菌』という意味です。

② **ピロリ菌は胃がんの原因となります。**胃がんの原因の多くは4つあります。アルコール・タバコ・ストレス、そして『ピロリ菌』です。

名前はかわいいけれど・・・。住みつかれると。胃がんになる危険性が

高まります。胃がん以外にも、慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ポリープの原因にもなります。

③ **ピロリ菌いる？いない？**楽に受けられる検査があります。まずは調べてみましょう。

もし、検査結果が陽性ならば、慢性胃炎や胃がんを調べるために続いて内視鏡検査を受けましょう。

④ **ピロリ菌がいた！**ご安心ください。ピロリ菌は薬の治療で除菌することができます。

当院は、《ピロリ菌感染症認定医》がいる青葉区内で唯一の病院になります（日本ヘリコバクター学会

ホームページ一覧）。お気軽にご相談ください。

～ピロリ菌って？～



第3回病院祭開催しました



9月27日に3回目となる『病院祭』を開催いたしました。多くの方にお越しいただきました。誠にありがとうございました。桐蔭学園和太鼓部の生徒の皆様！本当に感動しました。1人1人のパフォーマンス能力の高さにただただ驚きです。毎年恒例になっ

ているのが、片づけが終了すると、職員で部署別対抗「綱引き大会」をこっそりやっています。みんな疲れているだろうに・・・。でも綱引き大会は大盛り上がりします。軍手をはめないと手に豆ができるほど皆真剣です。職員も楽しんでおります。地域の皆さまが温かくこの病院祭を迎え入れてくださったおかげです。



この度、広報誌を発刊するにあたり、多くの職員の皆様に協力いただき、やっと仕上がりました。読んでくださる皆さまからのご意見も伺いながらより良い広報誌に育てていけるよう、準備していきたいと思っております。現段階では年2回の発行予定となっております。

どうぞよろしくお願いいたします。

たちばな台病院 法人本部



医療法人社団一成会 横浜市青葉区たちばな台 2-2-1

たちばな台病院

TEL : 045-962-3338 / FAX : 045-962-3172

たちばな台クリニック

TEL : 045-961-7835 / FAX : 045-961-7862

たちばな台訪問看護ステーション

TEL : 045-960-6235 / FAX : 045-960-6236